

標茶町立久著呂中央小学校の 森林教室を支援

10月29日（火）、パイロットフォレスト国有林で、標茶町立久著呂中央小学校の児童3名と引率の先生、当ふれあいセンターの職員2名で、森林教室を行いました。

始めに、森林で木が育つ様子から、使われ方までをパネルで説明したところ、子ども達から「木はどのように伐るのですか。」「ここには、何種類の木がありますか。」等の質問があり、ふれあいセンター職員が、丁寧に答えていました。

次に、場所を移動して、自然の中に隠した人工物を探す「カモフラージュ」を行い、生き物の擬態や生きる知恵と工夫を学んでもらいました。

また「フィールドビンゴ」では、自由に森林の中を歩き回り、いろいろな発見をしてもらいました。子ども達からは「カモフラージュが、一番楽しかった。」という感想が寄せられる一方、先生は黄金色に染まる雄大なカラマツ林の景観に、感動されている様子でした。

久著呂中央小学校は、2年後に廃校が決まっているようで、少々淋しくなりますが、子ども達は元気一杯な1日でした。



▽ パネルでの説明の様子



▽ 「カモフラージュ」の様子